「もう遠慮するな」

三池からの意見はっきりと それが仲間に応える道

太田前総評議長は九月一四日東圧労組を訪れたが、その途中、おりから開かれた三池労組中央委員会を来訪し、つぎのようにあいさつした。なお、このあと宮川組合長は三池の全組合員・家族を代表し感謝状を贈った。

感謝状を受ける太田前総評議長

第二のレッドパージ

いま、全国の産業でいわば第二のレッドパージが行なわれています。活動家に加えられるはげしい弾圧は三池をはじめあらゆる産業でみられるし、逆に会社につながった組合幹部は大企業の組合の八割を占めているといってもいいすぎではないと思います。

こんな情勢の中で、大衆の中に前進の素地はできつつあります。社青同をはじめ共産党、民青がのびていることがこのことを如実に示している。たとえば八幡製鉄労組の中でも全員投票の五役のうち二名は社会党支持の斗う同志が入っている。

三池支える力ある

私は、三池は総評や炭労の中であまり遠慮しすぎていると思います。三池斗争のとき皆さんに一万円のカンパをしてもらったからという理由もあるでしょうが、その仲間の半分近くは合理化でヤマを追われている。

今度の石炭政策に反対する炭労の姿勢も一部では会社の代弁だともいわれているが、三池が「こんなおかしな政転斗争には参加しない」という位のはっきりした姿勢を示してもらいたい。これは一時は孤立することがあっても必ず大衆は支持してくれるし、この姿勢こそが合理化の犠牲になった仲間に応える道だと思います。

ベトナム反戦に全力

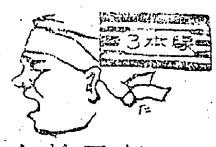
みなさんが第一組合に残っているのは労仂者全体の前進のために「何かをやる」ためだと思う。三池の中にとどまらず、ベトナム反戦ストも含めて何かをやるという気持を全員で持ってもらいたい。

私も総評議長をやめて本当に下部に入って三池のみなさんと共にたたかいたい。

趣味をめぐる ②

ビニール細工

宮浦　前原一角さん



入院して

前原さんは今年の二月から、腰から下の自由があまりきかなくなって入院しました。はじめは久留米医大で四月から倉永の植田外科に変り現在も入院中です。

「はじめは何もしないでぼんやりしていました。ところが退屈でたまらなくなってビニール細工を始めたのが動機」だと語る。

習いはじめはおもしろくてやめられず

一生懸命やったそうだ。これまでに作った作品も数えきれないほどあり、入院室の棚にもツル、カメ、松、花、トリ、タコなどたくさんかざってある。

二年間寝たきりの人から

入院していると何かやらねば退屈するので、お互いにいろんな技術を教え合う。

「私がならったのは、脊髄カリエスで二年間寝たきりの人からならいました。その人は寝ていて、細い仕事になる松を作ったり、その他何でも作っていました。そんな人をみると励まされます」

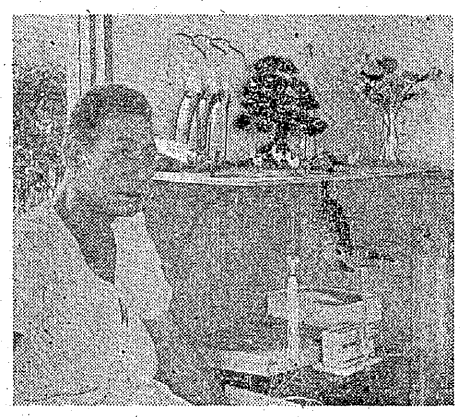
「その後ここに移ってから、入院している人がならいにきたり、明光や三池農高の生徒さんもならいにみえました。知らない人とも、ビニール細工を通して友だちになることができました」

とその喜びを語る。退院した人もたずねてくる人が多いそうだ。

愛情がわく

元気なときは、転場は材料で荒い仕事なので、こんな手先きを使う細工をやるなど考えたこともなかったという前原さんも「楽しみが一つふえた気がします。細いビニールと針金だけでなんでも作れます。この間も〝シェー〟をしたタコを作ったら、すぐ人がもらってゆきました。作品を作り上げたときは本当にうれしい。自分が作った作品の一つ一つに愛情がわく気がします」

と、白いビニールのツルをあむ手を動かしながら語ってくれた。



「作るのが楽しみです」と語る前原さん

米の残虐行為許すな

職場、地域の活動で　ベトナム反戦ストへ

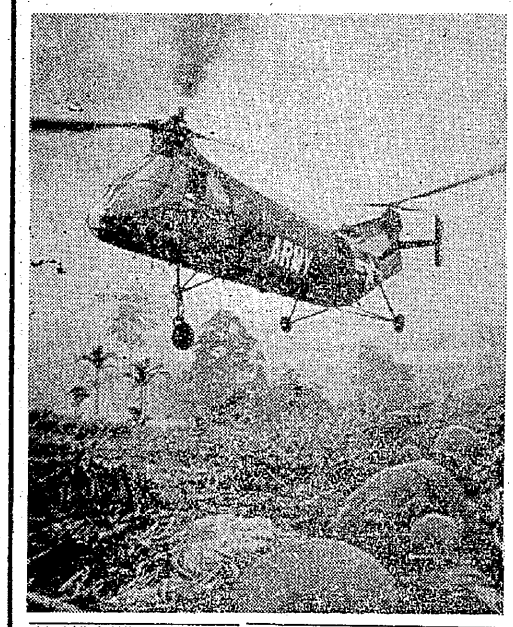
六月二九日のハノイ、ハイホン爆撃以来、ベトナム侵略戦争はますます凶暴さを加え、拡大している。総評は一〇月二一日、ベトナム侵略戦争に反対するストライキを決定した。多くの労仂組合がその準備にとりくんでいる。

サイゴンの米軍司令部は九月一一万三千人を越えたと述べた。また日、南ベトナムの米軍兵力は三〇一米国防総省は一〇月に朝鮮戦争以来一カ月としては最高の四万六千二百人の徴兵を行なうと発表した南ベトナムの米軍兵力はことし中に四〇万になろうといわれている。

残虐さはナチス以上

北ベトナムの海、トンキン湾には北爆用空母が三隻常駐している日本に入港のうわさされている核空母エンタープライズ号も姿をみせる。おもにここからの北爆は一日百四六回を数えることもある（8・24）。

残虐さは爆撃だけではない。「ある村では母、子どもばかり七人が町の広場へ連れてこられ、腹を裂かれ、肝臓をひっぱりだされて見せ物にされた」（ベトナム黒書）。米国防総省はさる七月三〇日〝ベトコン〟の食糧補給を奪うためこれまでに四万ヘクタールの作物に毒物を散布したと発表した〝焼きつくし、破壊しつくし、殺しつくし〟作戦は四百万人を虐殺したナチス・ドイツにも優る残虐作戦として世界の非難を受け、〝デウシュビッツ、ヒロシマをベトナムでくり返させるな〟の声が広がっている。



さらに戦争拡大へ

八月二一日付けの米誌ニューズウィークは、秋の適当な時期に米軍は北ベトナムへ上陸するだろうと伝え、南ベトナム人口の半分以上八百万人が住む穀倉地帯、メコンデルタ解放区への大軍の侵入を決定したという報道も行なわれている。また八月一七日、米国務省のスポークスマンは、南ベトナムの米軍司令官は必要とあれば国境を越えてカンボジア、ラオスに侵入することを許可されていると語った。戦線拡大のきびしさはそれだけにとどまらない。すでに〝韓国〟は三万を越える軍隊を派遣しているが、タイ、フイリッピンでも米軍の空軍基地増設が相つぎ、爆撃機が飛び立っている。本国を遠く離れた米軍の補給、前線基地の役割りは最近とくに日本でも色濃いものがある。軍服からビールまで――「南ベトナムの米兵は一日二四時間日本製品にとりかこまれている」（共同通信）。

特需を中心にした軍需生産を軸に転場の「合理化」も激しさを加え、物価高もとどまるところを知らない。ベトナム侵略戦争は〝アジア人同志をたたかわせる〟方向に確実に進んでいる。その中心に日本がある。

いますぐ行動を

北ベトナムのホー・チミン主席は七月一七日、「全国同胞へのアピール」を発表して、五年、一〇年、二〇年たたかい抜く決意を示し、世界人民の支持と援助を訴えている。われわれも転場で行動を起そう。

活動家の首切りが

明石市　川井貞雄

お手紙ありがとうございました。田中さまのお手紙はいつも読んでいて楽しくなります。昨夜も一〇時すぎに帰えり、腹がへってるのも忘れて読んでしまいました。仲間がやってきて「俺も来年は絶対三池に行くぞ」といってハリキって帰って行きました。それが夜中の二時ごろです。それで最近、私たちはベトコンの子どもみたいだからジャリコンとか夜光虫といわれます。会社からは、時間中はトロンとしていて時間外にはりきるので南京虫とつけられています。

ところで、当川崎でも合理化攻撃がきびしくなり、八月一七日に社会党員であり、社青同の前班長であった高永君を八月二〇日から解雇するという通告をしてきました。

解雇理由がふるっています。

①船のデッキでタバコをすった。

②市電、市バス値上げ反対のビラを電柱に貼っていて警察につかまった。

③朝出勤が遅いというのです。

会社側は、理由のいかんを問わず活動家の首を切って、もりあがりつつある運動をつぎくずそうというねらいのようです。

私たちは転場の一人一人に会社のねらいや私たちの斗いを訴えました。そのうちに小声で「元気を出してがんばれよ」とはげましていく者も出てきました。本当にうれしかったですよ。

いよいよ高永君の解雇撤回を法延斗争にもちこむことになりました。きょうは社会党・社青同合同でビラ入れをしました。ビラはほとんどの人が受けとり、転場にもっていってくれました。

会社の動きもはげしくなり、会社の子がいである労研の中からすら不満の声が出ています。

じっとみていると、会社は相当にあせっているようです。それで自分たちの思うようにならないから、理由はどうであれ活動家の首を切り、第二・第三の高永君をつくってゆくことが予想されます。

みていてください。最後までがんばります。では、くれぐれもお身体を大切に。

八月三一日

本所支部・田中寿男さま